

日本酸化ストレス学会東海支部第5回学術集会

日時：2017年2月18日（土）13:00-17:30

場所：愛知学院大学名城公園キャンパス キャッスルホール1階1101教室

（〒462-8739 名古屋市北区名城3-1-1）

プログラム

- 13:00 開会挨拶 実行委員長：大澤 俊彦（愛知学院大・心身科学）
13:05 日本酸化ストレス学会理事長挨拶 豊國 伸哉（名大院・医）
13:10 教育講演 座長：大澤 俊彦（愛知学院大・心身科学）
「ポリフェノールの体内動態と活性発現機構」
寺尾 純二（甲南女子大・看護リハビリテーション）

14:00 休憩

一般講演

- 14:10 セッション1 座長：川西 正祐（鈴鹿医療科学大院・薬）
0-1 「SOD3 発現制御機構としてのクロマチンリモデリングの分子機構」
○神谷 哲朗、市原 茉莉、原 宏和、足立 哲夫
（岐阜薬大・臨床薬剤学）
0-2 「マウスへの2日間単独隔離ストレスは肝臓におけるH0-1の遺伝子発現を上昇させる」
○保田倫子¹、本山径子²、小林章男²、榊原啓之³、下位香代子^{1,2}
（¹静岡県大・食、²静岡県大・生活、³宮崎大・農）
0-3 「ミトコンドリア欠失が好中球細胞外トラップにどの様に影響するか」
○瀧下 裕、清水 美緒、松尾 あかね、森 大輝、安田 浩之、佐藤 英介
（鈴鹿医療科学大学）
0-4 「2D-DIGE 法を用いた軽度認知障害患者の血漿タンパク質のプロファイリング」

○近藤 志織¹、北村 祐貴¹、本城 貴志¹、山嶋 哲盛²、村田 真理子¹、及川 伸二¹

(¹ 三重大学大学院・医学系研究科・環境分子医学、² 金沢大学大学院・医学系研究科)

0-5 「酸化損傷タンパク質を指標としたアルツハイマー病のバイオマーカーの探索」

○辻本 佳世¹、北村 祐貴¹、木田 博隆²、佐藤 正之²、市原 佐保子³、埜村 智之⁴、石川 雅一⁴、村田 真理子¹、冨本 秀和^{2,5}、及川 伸二¹

(¹ 三重大学大学院・医学系研究科・環境分子医学、² 三重大学大学院・医学系研究科・認知症医療学、³ 三重大学大学院・地域イノベーション学研究科、⁴ JA 三重厚生連いなべ総合病院、⁵ 三重大学大学院・医学系研究科・神経病態内科学)

休憩

15:15 セッション2 座長：中川 秀彦（名市大院・薬）

0-6 「Sirtuin蛍光プローブの開発と生細胞イメージング」

○川口充康、池川祥平、家田直弥、中川秀彦
(名古屋市立大学大学院薬学研究科)

0-7 「二価鉄検出蛍光プローブの多色展開」

○平山祐、坪井ひとみ、丹羽正人、永澤秀子
(岐阜薬科大学)

0-8 「脂質過酸化由来の翻訳後修飾タンパク質の解析」

○日坂 真輔¹、山川 晴香¹、青山 慎¹、近藤 芳皓¹、澤野 亜矢¹、鶴見 沙樹¹、赤津 裕康^{2,3}、永井(社本) 雅代⁴、加藤 陽二⁵、丸山 和佳子⁴、大澤 俊彦⁴、能勢 充彦¹

(¹ 名城大学・薬、² 名古屋市立大学大学院、³ 福祉村病院、⁴ 愛知学院大学・心身科学、⁵ 兵庫県立大学・環境人間)

- 0-9 Non-Thermal Plasma Induces Stress Response in Mesothelioma Cells through Increased Endocytosis, Lysosome Biogenesis and Autophagy.
○Lei Shi¹, Fumiya Ito¹, Des R. Richardson², Tasuku Hirayama³, Shinya Toyokuni¹
¹Department of Pathology and Biological Responses, Nagoya University
²Department of Pathology, University of Sydney
³Laboratory of Pharmaceutical and Medicinal Chemistry, Gifu Pharmaceutical University

- 0-10 「カシスアントシアニンによる神経細胞における酸化ストレス保護作用」
○上野有紀、三浦叶子、夏目梨冴、大澤俊彦
(愛知学院大・心身科学)

休憩

- 16:20 セッション3 座長：上野有紀 (愛知学院大・心身科学)
- 0-11 「ヒト神経芽細胞腫における黄杞 (*Engelhardtia chrysolepis*) 葉抽出物及びその成分の抗酸化作用」
○中原 達雄¹、上野 有紀²、大澤 俊彦²
(¹丸善製薬・総合研究所、²愛知学院大学・心身科学部)
- 0-12 「生体内代謝を考えた大豆イソフラボノイドの脂肪細胞への影響」
玉垣唯、松本悠依、丹羽利夫、大澤俊彦
(修文大学)
- 0-13 「自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法による柑橘類等フラボノイドの機能性」
○¹望月美佳, ¹山田洋美, ²数村公子, ²土屋広司, ²森下直計, ¹坂本祥子, ¹大澤俊彦
(¹愛知学院大・心身科学, ²浜松ホトニクス (株))

0-14 「植物ポリフェノール化合物シリビニンのDNA損傷性と活性酸素を介したアポトーシス」

○水谷秀樹¹, 大野奈々¹, 松浦史佳¹, 平工雄介², 川西正祐³

¹金城学院大薬学部医療薬学分野

²三重大学大学院医学系研究科環境分子医学分野

³鈴鹿医療科学大学薬学部社会環境薬学分野

0-15 「AOU (Antioxidant Unit) 研究会の活動」

○津志田藤二郎、大久保勉 中川亮、大澤俊彦
(AOU 研究会)

17:15 閉会挨拶 日本酸化ストレス学会東海支部長 足立 哲夫 (岐阜薬科大学)

17:30 意見交換会